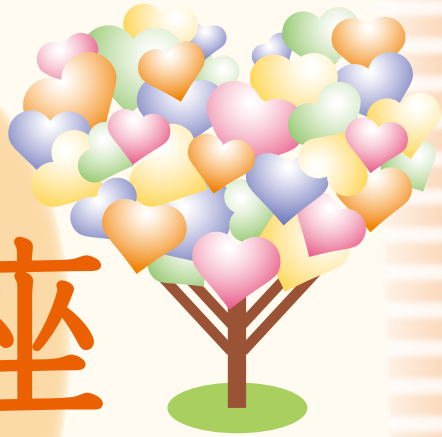
法政大学エクステンション・カレッジから講座のご案内

チャリティ講座



エクステンション・カレッジでは，資格取得を目指す講座や英会話を始めとする
語学力向上を目指す講座などの他，文化・教養講座を開講しています。
このたびは，東日本大震災の復興支援の一環として，
チャリティ講座３講座を開講し，受講料の一部を寄付金といたします。
多くの皆様の受講をお待ちしています。
なお，その他の講座のラインアップは，別冊の「開講講座のご案内」をご覧ください。

Charity Course 1

▶▶▶開講 11月27日(日)

尾木ママが語る「大震災後の子どもと教育」

講師
尾木直樹 教授
© 2011Isamu Kurosa/bestsellers

Charity Course 2

▶▶▶開講 10月8日(土)

大人のための古典文学

「試練のときに――
文学の力，あるいは文学の非力」

第1回目講師
田中優子 教授

Charity Course 3

▶▶▶開講 10月15日(土)

沖縄文化講座

「沖縄の音色と共に沖縄文化にふれる」

受講料のうち，50%（沖縄文化講座のみ 20%）以上を寄付金とする予定です。

法政大学 エクステンション・カレッジ

お問合せは，
☎03（3264）6243

お申込みは，ホームページにてお願いいたします。
https://www.hosei.org/

Charity Course 1

尾木ママが語る「大震災後の子どもと教育」

東日本大震災とその後の東京電力福島第一原子力発電所の事故は，被災され，避難された方々に多大な影響を及ぼしただけではなく，この国に住む私たちの意識や生き方にも大きな変化を与えました。今後，どのように復旧・復興をすすめていけばよいのか考える時，将来にわたる復旧・復興への長いプロセスは，子どもたちの世代と共に模索する必要があります。

では，その子どもたちは，いま何を思い，あまりにも厳しすぎる「現実」にどう向きあおうとしているのでしょうか。3.11 以降，何度か被災地に足を運び，支援活動にも携わってきた尾木ママが，私たちの社会の未来をどのように子どもと教育に託していけばよいのかについて，熱く語ります。

- ●日　時　2011年11月27日（日）13:30〜15:00
- ●場　所　法政大学 市ヶ谷キャンパス 薩埵ホール
- ●定　員　先着400名
- ●受講料　1,000円

尾木直樹（おぎなおき　法政大学キャリアデザイン学部教授）

1947 年滋賀県生まれ。早稲田大学卒業後，海城高校，東京都公立中学校教師，東京大学講師として，ユニークで創造的な教育実践を展開。その成果は 180 冊を超える著作物に。また，全国への講演，テレビ・ラジオのコメンテーター，対談，新聞・雑誌等への執筆，教育相談・カウンセリング等でも幅広く活躍。最近は，フジテレビ「ホンマでっか !?TV」等にレギュラー出演。「尾木ママ」（明石家さんまさん命名）の愛称で親しまれる。
近著は，『子ども格差〜壊れる子どもと教育現場』（角川 One テーマ 21，2010 年 2 月）『子どもが自立する学校〜奇跡を生んだ実践の秘密』（青灯社，2011 年 1 月）『尾木ママの「叱らない」子育て論』（主婦と生活社，2011 年 2 月）『尾木ママの黙ってられない!』（KK ベストセラーズ，2011 年 3 月）。

Charity Course 2

大人のための古典文学「試練のときに――文学の力，あるいは文学の非力」

あまりにも大きな爪痕を残し，現在も止まるところを知らない災禍を目の当たりにし，命とは，人間とは，文明とは…と多くのことを考えざるを得ない日々が続いています。

そんな今，古典文学はあまりにも非力です。それでも，この列島に生きた人々がどのように厳しい自然の試練や人間自身の過ちによる危機に向き合ってきたのか，そこであらゆる喪失をどう受け止め，悲哀をいかに生き抜いてきたのか，さまざまに描いてきた作品があります。災害に限らずとも，人が自然にどのような目を向け，どう関わってきたのか，あるいは，人と人がどのように心を寄せ合い生きてきたのか，古代以来の文学が記録してきた人間の営み，人の生の捉え方から，今日を生きる私たちが学べることはないでしょうか。地震研究において古代からの記録の意義が見直されているように，いにしえの人々の言葉に耳を傾け，一緒に思いをめぐらせてみませんか。

- ●対象者　日本の古典文学や芸能史に興味をお持ちの方，古典や歴史に学んで考えてみたい方（在校生も）
- ●定　員　先着100名
- ●場　所　法政大学 市ヶ谷キャンパス内 教室
- ●協　力　法政大学　国際日本学研究所　野上記念能楽研究所　文学部日本文学科
- ●受講料　一般5,000円　大学生3,000円　高校生1,000円（定員に余裕がある場合のみ、単回受講が可能です。）

●講座日程・内容

回数	開催月日	曜日	時間	講師	内容
1	2011年 10月 8日	土	13:30〜15:40	田中　優子	震災を読む，闇を読む―新井白石の自伝文学『折たく柴の記』その他より―
2	10月15日	土	13:30〜15:40	横山　泰子	安政の大地震と関東大震災をめぐる語り
3	10月29日	土	13:30〜15:40	小林ふみ子	天災と人災に向き合う江戸の知恵―杉田玄白『後見草』と天明狂歌師たち―
4	11月19日	土	13:30〜15:40	阿部　真弓	野分の風を見つめる人々―『枕草子』『源氏物語』を中心に ―
5	11月26日	土	13:30〜15:40	山中　玲子	寄り添う心―『発心集』―
6	12月 3日	土	13:30〜15:40	小秋元　段	中世の災害を生きる―『方丈記』―
7	12月10日	土	13:30〜15:40	伊海　孝充	水を司る龍―能〈河水〉―

田中優子（たなかゆうこ　法政大学社会学部教授）

法政大学大学院博士課程満期退学。専攻は近世文学，日本近世文化・アジア比較文化。著書に，『江戸の想像力』（筑摩書房，1986 年），『江戸百夢』（朝日新聞出版局，2000 年），『カムイ伝講義』（小学館，2008 年），『未来のための江戸学』（小学館，2009 年），『江戸っ子はなぜ宵越しの金を持たないか』（小学館，2010 年），『布のちから』（朝日新聞出版，2010 年）他多数。

横山泰子（よこやまやすこ　法政大学理工学部教授）

国際基督教大学大学院博士後期課程修了。博士（学術）。専攻は近世・近代文学。著書に『江戸歌舞伎の怪談と化け物』（講談社，2008 年），『綺堂は語る，半七が走る』（教育出版，2002 年），『江戸東京の怪談文化の成立と変遷』（風間書房，1997 年），『四谷怪談は面白い』（平凡社，1997 年）他。

小林ふみ子（こばやしふみこ　法政大学文学部准教授）

東京大学大学院博士課程満期退学。博士（文学）。専攻は近世文学，特に江戸狂歌・大田南畝を中心とする中後期の俗文芸。著書に『天明狂歌研究』（汲古書院，2009 年），『絵入吉原狂歌本三種』（太平書屋，2002 年）。

阿部真弓（あべまゆみ　法政大学文学部教授）

大阪大学大学院博士後期課程修了。博士（文学）。専攻は中世文学・日記文学。論文に「『弁内侍日記』論」（『日本古典文学研究の新展開』笠間書院，2011 年），「『中務内侍日記』の寓意性―中世女流日記文学研究の課題―」（『日本古典文学史の課題と方法―漢詩 和歌 物語から説話 唱導へ―』，和泉書院，2004 年），「『とはずがたり』における自己造型に関する一考察―『夜の寝覚』の影響をめぐって―」（『日本文學誌要』74，2006 年）他。

山中玲子（やまなかれいこ　法政大学野上記念能楽研究所教授）

東京大学大学院博士課程満期退学。博士（文学）。専攻は中世文学，特に能・狂言。著書に『能の演出 その形成と変容』（若草書房，1998 年），『能楽囃子方五十年 亀井忠雄聞書』（岩波書店，2003 年），『能を面白く見せる工夫　小書演出の歴史と諸相』（檜書店，2008 年）他。

小秋元段（こあきもとだん　法政大学文学部教授）

慶應義塾大学大学院博士課程満期退学。博士（文学）。専攻は中世文学および近世初期出版文化。著書に『校訂　京大本　太平記』（勉誠出版，2011 年），『太平記・梅松論の研究』（汲古書院，2005 年），『太平記と古活字版の時代』（新典社，2006 年）他。

伊海孝充（いかいたかみつ　法政大学文学部専任講師）

法政大学大学院博士後期課程満期退学。博士（文学）。専攻は中世文学，特に能の作品研究。著書に『切合能の研究』（檜書店，2011 年），論文に「長刀を持つ知盛の成立―〈碇潜〉〈船弁慶〉をめぐる試論―」（『能楽研究』32 号，2008 年），「『応永三十四年演能番組』掲載の「忠信」をめぐって」（『中世文学』51 号，2006 年）他。

Charity Course 3

沖縄文化講座「沖縄の音色と共に沖縄文化にふれる」

三線，紅型，さとうきび，碧い海，やちむん…。沖縄文化は，ヤマトの文化だけでなく，中国を始めとする東アジア世界の文化の影響も受けている，まさにチャンプルーな文化です。沖縄文化を学びながら，その真髄ともいうべき三線音楽を楽しみます。楽器に直接触れ，講座終了時には，沖縄民謡の代表作「安里屋ゆんた」を皆さんに演奏していただけるようになればと考えています。

- ●定　員　先着50名（最低催行人数20名）
- ●場　所　法政大学 市ヶ谷キャンパス内 教室
- ●受講料　一般7,000円　大学生3,000円　高校生1,000円
- ●協　力　法政大学　沖縄文化研究所

※三部形式

●講座日程・内容

回数	開催月日	曜日	時間（予定）	一部（お話）	二部（ミニコンサート）	三部（楽器体験）
1	2011年 10月15日	土	11:00〜13:00	琉球とヤマト 世界遺産熊野を媒介として	沖縄の子守唄	指笛・三線
2	10月22日	土	11:00〜13:00	沖縄の工芸 やちむんと宮古上布	宮古島民謡	三板・三線
3	10月29日	土	11:00〜13:00	沖縄の夜空	八重山民謡	島太鼓・三線
4	11月12日	土	11:00〜13:00	組踊と能	琉球古典音楽	三線
5	11月19日	土	11:00〜13:00	沖縄と白洲次郎	沖縄民謡	三線
6	11月26日	土	11:00〜13:00	スローライフな島宮古島	琉球舞踊	三線

仲本光正（クイチャーパラダイス主宰　歌・三線・指笛）

宮古島出身，琉球大学卒，クイチャーパラダイス主宰。クイチャーパラダイスは全国に百カ所あまりの三線教室を展開し，独自の沖縄音楽の楽譜を開発，三線制作もてがけています。

垣花暁子（クイチャーパラダイス専属　歌・三線・三板・太鼓）

宮古島出身，日本社会事業大学卒，クイチャーパラダイスの歌い手としてばかりでなく，ソロ活動も手がける。大工哲弘らとのオムニバス CD もある。

竹内光浩（専修大学文学部非常勤講師　笛・太鼓）

法政大学卒，クイチャーパラダイスの笛奏者。

※寄付については，受講人数にかかわらず受講料の50%（沖縄文化講座のみ20%）を下限とし，運営にかかる実費を差し引いて，残りを全額寄付します。全講座終了後，当カレッジホームページにて寄付状況を報告します。